

指針5 肝炎医療の提供体制及び人材育成 (職域での肝炎対策の理解促進)

<職域向けウイルス性肝炎研修会>

○概要

職域の衛生管理担当者等を対象に、肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨を行うことができるよう肝炎の基礎知識を付与するとともに、肝炎患者等への偏見の解消、仕事と治療の両立への理解のための研修を実施する。

○実績

【基礎コース】1日×2回(いずれか1日を受講)

| | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----|------|------|------|------|------|
| 受講者 | 115 | 125 | 116 | 86 | 130 |

【コーディネーター養成コース】2日間(基礎コース終了者が対象)

| 年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----|------|------|------|------|------|
| 受講者 | — | — | 45 | 24 | 41 |

*コーディネーター養成コース受講者に、「東京都肝疾患職域コーディネーター認定証」を交付

*肝疾患職域コーディネーターとは

ウイルス性肝炎や肝炎対策についての知識を持ち、肝炎ウイルス検査陽性の従業員、肝疾患を有する従業員の就労と治療の両立をサポートするための相談・支援を行う。

(活動内容)

- ・肝炎ウイルス検査の受検勧奨及び肝臓専門医療機関への受診勧奨
- ・制度の紹介
- ・相談と助言(患者やその家族の悩みを受け止め、治療継続のための助言を行う。)
- ・職場に対する働きかけ(業務量の制限、理解の促進など)